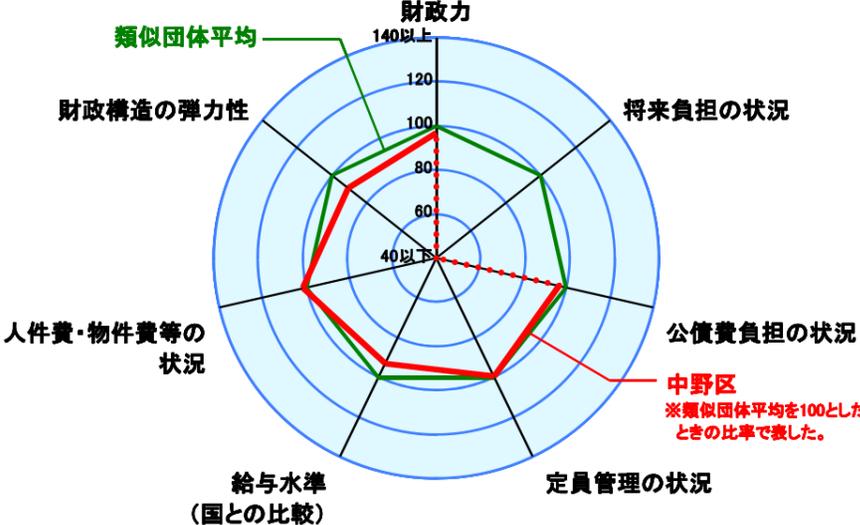
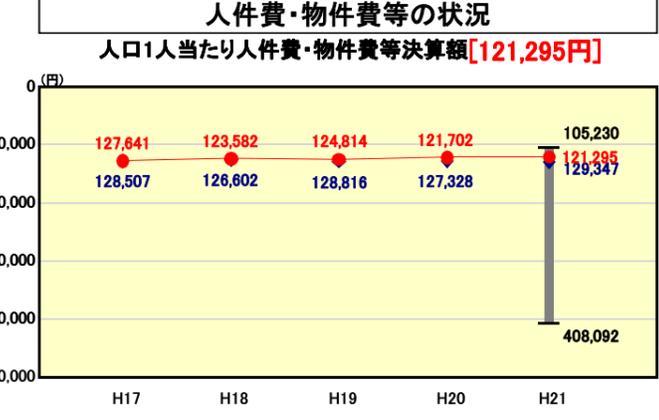
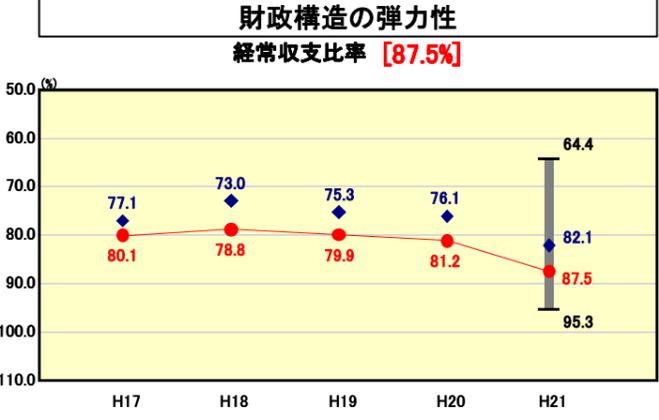
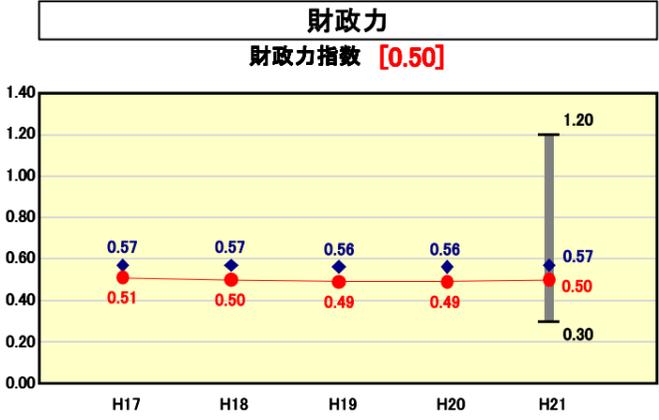


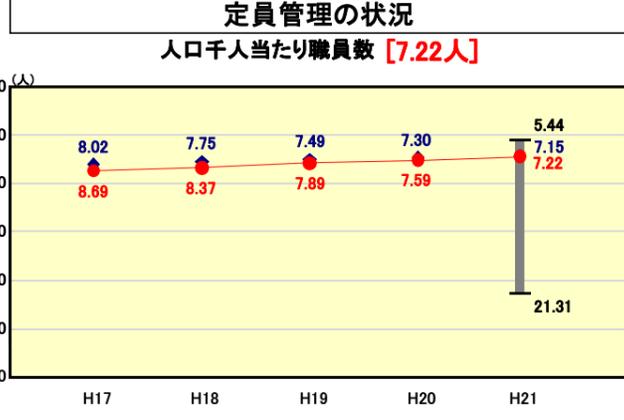
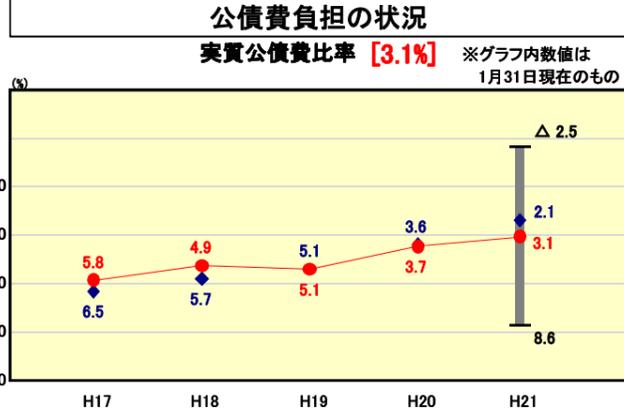
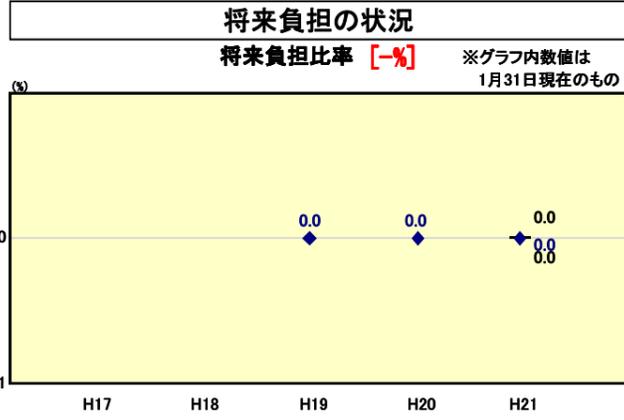
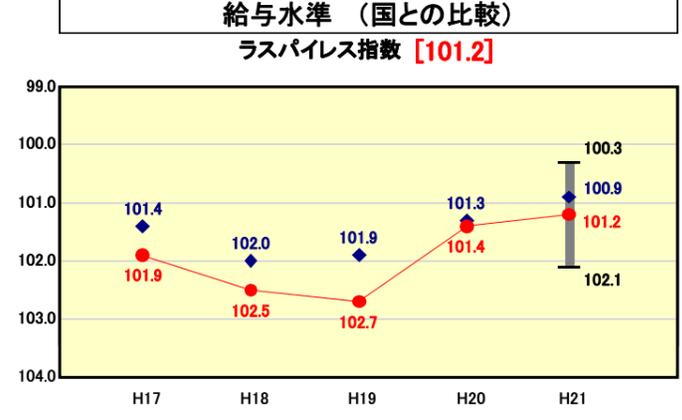
市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の
最大値及び最小値

人口	300,009	人(H22.3.31現在)
面積	15.59	km ²
標準財政規模	77,446,251	千円
歳入総額	122,956,919	千円
歳出総額	121,309,263	千円
実質収支	987,103	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

■財政力指数
 類似団体の平均を下回る状況で、近年横ばいで推移しています。
 今後も景気低迷によるマイナス要因が見込まれるため、事業の優先順位を明確にし、徹底した見直しを行うことにより、歳出の抑制を図るとともに、税收等の収納率向上に向けて全庁的に取り組みを行い、持続可能な財政運営に努めていきます。

■経常収支比率
 前年度と比べて6.3ポイント上昇し、87.5%となりました。
 人件費は減少しているものの、扶助費や公債費が増加したことに加え、財政調整交付金等の経常一般財源が減少したことによるものです。
 さらなる事業の検証と見直しを進めることにより経常経費の削減に努め、財政の健全化と柔軟性を確保します。

■人口一人当たり人件費・物件費等決算額
 近年職員の削減による人件費の減により前年度に比べ減少し、類似団体の平均に近い数値となっています。

■ラスパイレース指数
 職員構成や給料表の構成等の違いが影響していることにより、国の指数より高くなっていますが、ほぼ類似団体の平均となっています。

■将来負担比率
 区債の残高、債務負担行為に基づく支出予定額、退職手当の支給予定額の合計である将来負担額より、債務に充当することが可能な基金などの充当可能財源等が大きいいため、将来負担比率は算出されず、財政の健全化を保っています。

■実質公債費比率
 類似団体平均と比較して1.0ポイント上回っていますが、これは療育センターアポロ園やシェモア仙石に係る特別区債の繰上げ償還や、警察大学校等跡地整備に伴う道路・公園用地取得事業債の通年償還等によるものです。
 しかし、前年度比較としては0.6ポイント下がっており、今後も一般財源、基金、起債のバランスに配慮し、計画的な地方債の発行による公債費の適正水準の維持に努めます。

■人口千人当たり職員数
 徹底した事業の見直しによる委託化や民営化など進めてきた結果、職員数は毎年減少しています。引き続き計画的な職員数の削減に取り組み、平成28年度に職員2000人体制の実現をめざします。